

# 静岡県月例経済報告

(令和4年8月号)

……令和4年6月を中心とした県内経済のすがた……

No. 556

—静岡県経済産業部—

## 目 次

I 静岡県経済の概況 .....	1
II 静岡県主要経済指標の概況 .....	7
・需要面 .....	7
・生産面 .....	15
・雇用面 .....	17
・その他 .....	20
III 静岡県主要産業の動向 .....	24
IV データからみた県内主要産業 .....	27

## 利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

# I 静岡県経済の概況

〔 本稿は、令和4年6月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。 〕

## 概況

令和4年6月を中心とした静岡県の景気は、新型コロナウイルス感染症等の影響から供給面の制約が残るものの、基調としては持ち直している。

先行きについては、全体としては持ち直しの動きが期待される一方、新型コロナウイルス感染症の動向に十分注意する必要があるほか、物価高騰等が及ぼす影響に留意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きが続いている。

- ・ 個人消費は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

(下線部は前月からの変更箇所)

## 需要面

### 「個人消費は、持ち直しの動きがみられる」

大型小売店販売額(6月)は、百貨店が4か月連続で前年実績を上回ったものの、スーパーが3か月連続で前年実績を下回ったため、総額でも6か月ぶりに前年実績を下回った。

専門量販店等販売額(6月)は、家電大型専門店、ホームセンターがいずれも3か月ぶり、コンビニエンスストアが3か月連続、ドラッグストアが14か月連続で前年実績を上回ったため、総額でも6か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(6月)は、乗用車が10か月連続、軽自動車が12か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも12か月連続で前年実績を下回った。

### 「住宅建設は、前年を下回った」

新設住宅着工戸数(6月)は、貸家が3か月ぶり、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家が6か月連続で前年実績を下回ったため、総数でも3か月連続で前年実績を下回った。

### 「公共投資は、前年を下回った」

公共工事請負金額(6月)は、3か月連続で前年実績を下回った。

### 「設備投資は、持ち直している」

日銀短観(6月調査)の令和4年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業、非製造業、全産業においていずれも増加する計画となっている。

着工建築物床面積（非居住用）（6月）は、3か月ぶりに前年実績を下回った。

### 「輸出は、おおむね横ばいとなっている」

#### 「輸入は、前年を上回った」

輸出総額（6月）は、原動機が4か月連続、エアコン、自動車、科学光学機器がいずれも2か月ぶり、自動車の部分品が5か月連続、二輪自動車類が8か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額（6月）は、自動車の部分品が4か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品、紙類及び同製品がいずれも3か月連続、木材が16か月連続、パルプが15か月連続、原動機が17か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも17か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、898億円の輸出超過となった。

## 生産面

### 「生産は、持ち直しの動きがみられる」

鉱工業生産指数（6月）は、業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械、化学がいずれも5か月連続、電気機械が12か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械が13か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品が14か月連続、食料品・たばこが2か月ぶりに前年水準を上回ったため、総合でも10か月ぶりに前年水準を上回った。また、前月比は2か月ぶりに増加した。

なお、鉱工業在庫指数（6月）は、総合では4か月ぶりに前年水準を下回った。

## 雇用面

### 「雇用情勢は、改善の動きが続いている」

有効求人倍率（6月）は1.31倍となり、前月を0.03ポイント上回り、4か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（6月）は、13か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（5月）は、6か月連続で前年実績を上回った。

## その他

### 「金融環境は、貸出残高は前年を下回り、信用保証金額は前年を上回った」

県内金融機関の貸出残高（6月）は、前年同月比 0.9%減と前年実績を下回った。

信用保証協会保証金額（6月）は、前年同月比 229.2%増と前年実績を上回った。

### 「企業倒産は、件数、負債総額のいずれも前年を下回った」

企業倒産（7月）は、月件数は5件（前年同月比 61.5%減）、負債総額は175百万円（同 86.1%減）と、いずれも前年実績を下回った。

## <トピックス>

事業継続・強化

# 燃油・飼料価格高騰による購入費用の増加に対する助成

令和4年6月補正で、燃油・飼料価格高騰に対する対象期間を拡大しました。申請等に関する詳細は、順次公開しますのでご確認ください。

	区分	内容	お問い合わせ先
<b>荒茶工場燃油価格高騰緊急対策事業費助成</b>	対象者	茶工場	お茶振興課 054-221-2674
	対象経費	基準価格を超えた燃油代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年4月～10月	
	申請先	県内各農業協同組合	
	申請期間	令和4年8月～	
<b>施設園芸燃油価格高騰緊急対策事業費助成</b>	区分	内容	お問い合わせ先
	対象者	施設園芸農家	農芸振興課 054-221-3299
	対象経費	基準価格を超えた燃油代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年4月～6月	
	申請先	県内各農業協同組合	
申請期間	令和4年9月上旬～9月末		
<b>飼料価格高騰緊急対策事業費助成</b>	区分	内容	お問い合わせ先
	対象者	畜産農家	畜産振興課 054-221-2705
	対象経費	基準価格を超えた飼料代ほか	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年4月～9月	
	申請先	静岡県配合飼料価格安定基金協会等	
	申請期間	令和4年9月～10月(予定)、 令和4年12月～令和5年1月(予定)	
備考	自家配合飼料を使用する畜産農家(国のセーフティネット制度未加入者を含む)も対象		
<b>漁業用燃油価格等高騰緊急対策事業費助成</b>	区分	内容	お問い合わせ先
	対象者	漁業者、養殖業者	水産振興課 054-221-2695
	対象経費	基準価格を超えた燃油代、飼料代	
	補助率	1/2以内	
	対象期間	令和4年4月～9月	
	申請先	静岡県漁業協同組合連合会	
申請期間	4～6月分：令和4年8月～9月(予定)、 7～9月分：令和4年11月～12月(予定)		

国のセーフティネット制度に加入することが要件です。

## <トピックス> 「バイ・山の洲」の展開

県は、「利他」と「自利」の精神で支え合う新しい消費スタイルを目指し、県民の皆様が県産品の購入や県内施設の利用に積極的に取り組む「バイ・シズオカ」や、山梨県との連携による「バイ・ふじのくに」、長野県、新潟県を加えた四県の連携による「バイ・山の洲」を推進しています。

本年度は「バイ・ふじのくに」の取組を更に深化させるとともに、昨年11月に開催した「第6回中央日本四県サミット」での共同宣言に基づき、「バイ・山の洲」の本格展開を図っています。

### <本年度の主な取組>

- 1 四県連携による強みを生かした個人消費の喚起
  - ・物産市・直売会等による各県産品の相互販売
  - ・四県連携による「バイ・山の洲」物産展の開催
- 2 山の洲の量販店への県産品販路拡大
  - ・山の洲の量販店（地場スーパーマーケット）での継続的なフェア開催、県産品の定番商品化
- 3 デジタルを活用した域内販路拡大
  - ・「バイ・シズオカ オンラインカタログ」を活用したオンライン商談会の開催

### 今後の物産市・直売会開催予定

#### <物産市>

○9月17日（土）・18日（日）

「静岡物産市」in道の駅富士川（山梨県富士川町）  
・県内より56事業者が出展！

○10月1日（土）・2日（日）

「山梨物産市」inしずおか（青葉公園）  
【同時開催】「バイ・シズオカ」静岡物産市（仮）

#### <直売会>

○9月17日（土）・18日（日）

山梨県産シャインマスカット直売会（静岡伊勢丹）


○10月下旬

長野県産りんご直売会（静岡伊勢丹）

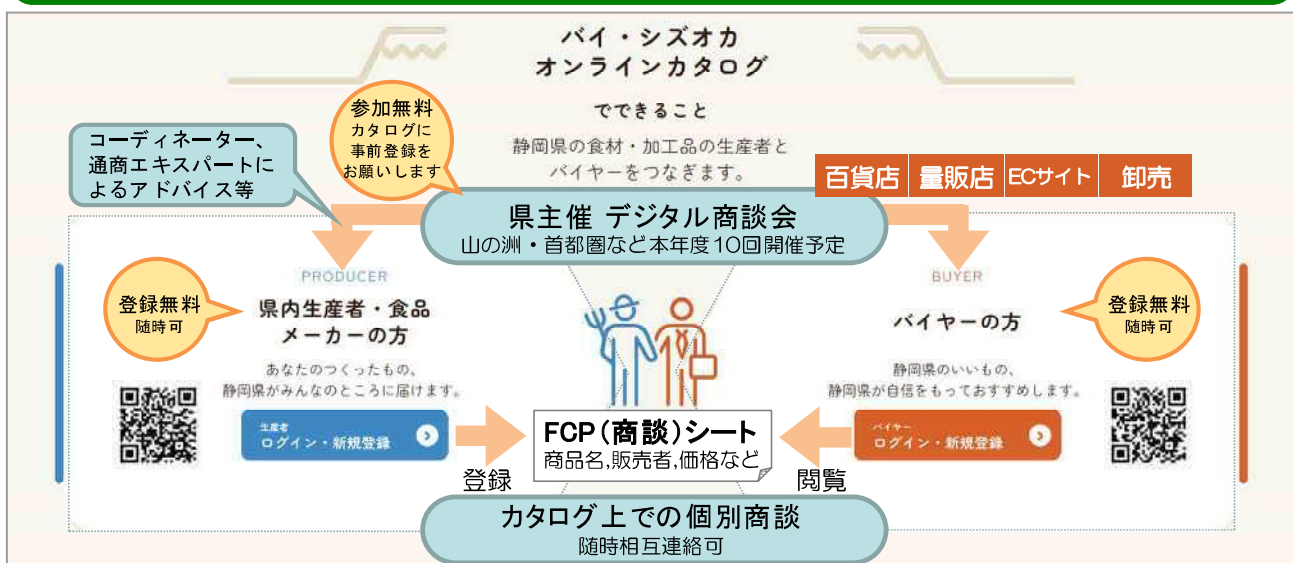
○12月上旬

新潟県産西洋なし等直売会（静岡伊勢丹）

### 本年度の「オンライン商談会」開催予定（首都圏、県内を含む）

時期	商談相手	備考
8月30日（火）	卸売事業者 国分中部(株)様	参加事業者募集は終了。
9月22日（木）	新潟県内の量販店（株）ウオロク様	<b>参加事業者募集締切：9月2日（金）</b> 対象商品：県産水産品・加工品 商談会申込ページ： 
10月中旬以降 順次開催 (予定)	山梨県内の量販店（株）オギノ様 長野県内の量販店（1社） 静岡県内の量販店（3社） 首都圏の量販店（2社） ECサイト（1社）	開催、参加事業者募集の詳細は、決定後に「バイ・シズオカ オンラインカタログ」登録者にはメールで御案内するとともに、県マーケティング課ホームページにも掲載します。

### 「バイ・シズオカ オンラインカタログ」の登録事業者・バイヤーを募集しています！



お問い合わせ先

マーケティング課マーケティング企画班 ☎ 054-221-2678



<トピックス>



World O-CHA(Tea)Festival 2022, Shizuoka, Japan

# 世界お茶まつり 2022

入場  
無料

OCHAで元気な笑顔!



## 秋の祭典

2022年10月20日(木) - 10月23日(日)

10:00 ~ 16:00 (20日(木)は12:00 ~ 開場)

会場: 静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」

### 産業 Industry

● ワールドO-CHAマーケット

オンライン:  
9月20日(火)~11月25日(金)



1F 大ホール「海」 3F ロビー 屋外 インターロッキング

● テイスティングフェスティバル

10月22日(土)・23日(日)

2F 大ホール南ホワイエ

● まるのみしずおか

3F 大ホール南ホワイエ

● 日本茶AWARD

1F 大ホール南ホワイエ

● ChaOIプロジェクト

1F 大ホール「海」

### 文化 Culture

● 世界大茶会

3F 大ホール北ホワイエ 3F ロビー

6F 展示ギャラリー

● アウトドアフィールド

屋外 芝生広場

● Cha-1グランプリ in 世界お茶まつり2022

10月22日(土)

11F 会議ホール「風」

● 世界の路上茶屋

屋外 南側通路

● 日本茶ドキュメンタリー映画

10月23日(日)

2F 映像ホール

● SweetEA ペアリング

6F 交差ホール



### 学術 Arts and sciences

● 茶の機能性シンポジウム

10月23日(日)

11F 会議ホール「風」

● 世界緑茶会議2022

10月20日(木)・21日(金)

9F 会議室 11F 会議ホール「風」

● 静岡健康・長寿学術フォーラム

10月21日(金)

10F 会議室 11F 会議ホール「風」

● 産業・文化・学術セミナー

9F 会議室

● 静岡茶の世界を考える

懇話会シンポジウム他

シンポ・研究成果展示:10月20日(木)

生活文化展示:10月20日(木)~23日(日)

6F 展示ギャラリー 10F 会議室

### 同時開催プログラム

● ブックフェスタしずおか

10月22日(土)

屋外 芝生広場 1F 中ホール「大地」

一部有料 予約制

● 山本高広×みかん

お茶らけモノマネライブ

10月23日(日)

1F 中ホール「大地」

有料 予約制

● 第10回

静岡市お茶まつり



グランシップの駐車場には限りがあります。  
公共交通機関を利用し、お越し下さい。

● 日程・内容等は記事事項により予告なく変更になる可能性があります。

● 新型コロナウイルス感染防止対策にご理解・ご協力をお願いします。

※写真はイメージです。

### 公式HP



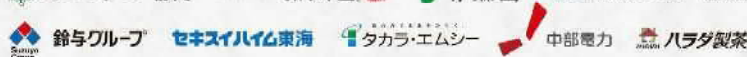
詳しくはコチラ

主催 / 第8回世界お茶まつり実行委員会

お問い合わせ先 / 第8回世界お茶まつり実行委員会事務局 〒422-8067 静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル3階

Tel: 054-202-1488 Mail: wof@pref.shizuoka.lg.jp URL: https://www.ocha-festival.jp/2022/

協賛 アルファクラブ静岡 静岡お茶の市川園 伊藤園 静岡県のJA 静岡県の信用金庫



# <トピックス>業種別の経済・雇用情勢

## ①県制度融資の申込状況

(R4年8月22日時点)

区分		申込状況		
		金額	件数	業種別の状況
R2 ～ 3	新型コロナウイルス感染症対応枠(旧) 【R2.2.12～4.17終了】	億円 2,334	件 8,158	卸小売業23.5%、製造業22.0%、建設業17.1%、飲食業12.8%、宿泊・旅行業3.5%、運輸業2.9%等
	国連携新型コロナウイルス感染症対応貸付 【R2.5.1～R3.3.31】	億円 8,064	件 53,666	建設業26.0%、卸小売業19.8%、製造業19.5%、飲食業7.9%、運輸業2.9%、宿泊・旅行業1.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R2.4.28～R4.3.31】	億円 697	件 4,186	建設業29.7%、卸小売業18.1%、製造業15.5%、飲食業8.7%、運輸業3.7%、宿泊・旅行業2.1%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R3.4.1～R4.3.31】	億円 278	件 1,776	建設業24.5%、卸小売業21.1%、製造業20.2%、飲食業9.5%、運輸業3.9%、宿泊・旅行業3.2%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R3.4.1～R4.3.31】	億円 14	件 53	製造業60.4%、卸小売業17.0%、建設業11.3%、運輸業11.3%
R4	新型コロナウイルス感染症対応枠(新) 【R4.4.1～】	億円 63	件 687	建設業37.6%、卸小売業19.8%、製造業13.8%、飲食業5.1%、運輸業4.2%、宿泊・旅行業0.3%等
	新型コロナウイルス感染症対応伴走支援 特別貸付【R4.4.1～】	億円 90	件 616	建設業29.5%、製造業20.5%、卸小売業20.0%、飲食業9.3%、運輸業2.4%、宿泊・旅行業2.1%等
	再生支援企業貸付(新型コロナウイルス 感染症対応枠)【R4.4.1～】	億円 2	件 9	製造業77.8%、建設業11.1%、卸小売業11.1%
計		億円 11,542	件 69,151	リーマンショック時：保証料承諾額 1,749億円 (H20.9～H21.8：1年間) 東日本大震災時：保証料承諾額 553億円 (H23.4～H24.3：1年間)

## ②県内の新規求人数(季節調整値)の推移

業種別新規求人(一般+パート) 前年同月比の推移

(%)

区分	R3年 8月	9月	10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
農・林・ 漁・鉱業	0.6	▲7.4	▲15.8	8.6	45.8	▲6.6	43.0	24.8	▲16.7	66.1	26.4	6.8
建設業	13.7	7.9	1.4	6.4	4.1	8.6	2.3	9.4	4.7	4.8	12.7	2.4
製造業	70.3	42.0	29.4	45.9	42.2	32.6	39.0	33.0	16.6	19.7	22.8	8.1
卸売・小売業	4.5	11.1	14.6	13.7	10.3	12.6	18.1	20.8	19.2	21.3	50.1	16.7
金融、保険 不動産業	33.3	6.1	▲35.6	35.7	9.7	21.4	13.3	21.3	5.9	8.5	34.5	15.1
運輸業	▲0.1	10.7	23.5	1.8	31.2	36.0	14.1	▲3.7	28.2	13.3	3.7	19.3
情報通信業	23.5	4.3	2.8	▲5.4	▲9.6	7.6	▲6.8	2.7	38.2	▲14.6	1.5	▲4.3
飲食、宿泊 サービス業他	24.8	4.6	26.2	17.5	17.8	28.3	28.2	10.3	23.1	18.9	22.7	8.3
県全体	16.5	11.5	13.5	17.8	15.2	15.6	20.1	10.8	15.3	16.2	14.7	9.2

(出典：静岡県内の最近の雇用情勢(静岡労働局))

## ③県内企業の倒産状況

業種別倒産件数(負債金額1千万円以上)の推移

(件)

区分	R3年 8月	9月	10月	11月	12月	R4年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
農・林・ 漁・鉱業	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0
建設業	3	4	4	7	6	3	1	6	2	2	3	0
製造業	0	3	4	2	2	1	1	3	3	7	4	1
卸売・小売業	1	2	4	2	1	0	1	4	5	3	4	1
金融、保険 不動産業	1	2	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0
運輸業	0	0	1	1	0	0	1	1	0	2	0	0
情報通信業	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
飲食、宿泊 サービス業他	3	4	6	5	3	3	2	2	8	4	3	3
県全体	8	15	20	19	13	8	7	16	19	18	15	5
うちコロナ 関連倒産	0	7	2	1	5	2	3	5	6	4	2	2

(出典：東京商工リサーチ静岡支店調べ)



## Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

### 需 要 面

#### 1 個人消費

##### (1) 大型小売店販売額

**6月 = 35,424百万円**

\*前年同月比： 1.5%減

(県内3百貨店、153スーパー合計)

&lt;概況&gt;

6月の大型小売店販売額は35,424百万円で、前年同月比 1.5%減となり、6か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店(前年同月比 1.8%増)が4か月連続で前年実績を上回ったものの、スーパー(同 2.1%減)が3か月連続で前年実績を下回った。

商品別では、衣料品(同 2.7%減)が4か月ぶり、身の回り品(同 3.0%減)が3か月ぶり、飲食料品(同 2.1%減)が4か月連続、家庭用品(同 6.6%減)が14か月連続で前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は1.0%減と、6か月ぶりに前年実績を下回った。

&lt;最近の動き&gt;

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	35,768	44,977	37,583	33,491	36,202	34,604	36,374	35,424
前年同月比(%)	▲0.1	▲0.3	0.9	2.2	0.5	0.4	0.3	▲1.5
うち百貨店(%)	9.1	5.9	8.0	▲2.7	0.9	6.5	13.5	1.8
スーパー(%)	▲1.9	▲1.8	▲0.4	3.0	0.4	▲0.6	▲1.7	▲2.1
(参考1)全国前年同月比(%)	1.4	1.4	2.6	0.1	1.5	4.0	8.5	1.3
うち百貨店(%)	8.1	8.9	15.4	▲0.8	4.4	18.6	56.0	11.6
スーパー(%)	▲1.1	▲1.6	▲1.0	0.4	0.4	▲0.3	▲2.0	▲2.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.8	▲0.1	1.4	2.2	0.3	1.2	1.0	▲1.0

(注1) 販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

&lt;資料&gt;経済産業省

(注2) 令和2年3月に調査事業者の見直しを行ったため、前年同月比の計算についてはリンク係数処理済み

&lt;商品別前年同月比の推移&gt;

(単位：%)

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣料品	3.1	▲3.5	4.8	▲11.9	3.5	3.1	4.6	▲2.7
うち紳士服・洋品	5.9	▲2.0	6.2	▲10.8	5.3	3.4	8.0	▲2.7
婦人・子供服・洋品	2.7	▲3.7	4.8	▲11.8	1.9	2.0	3.9	▲3.6
身の回り品	▲2.0	▲4.5	2.8	▲12.2	▲1.7	5.3	6.5	▲3.0
飲食料品	▲1.3	▲0.6	▲0.1	3.8	▲0.1	▲0.5	▲0.8	▲2.1
家庭用品	▲8.2	▲6.4	▲2.4	▲1.2	▲3.9	▲3.6	▲7.3	▲6.6
うち家庭用電気機械器具	▲17.0	▲14.8	▲7.4	▲7.0	▲2.1	▲5.4	▲10.2	▲0.5

(注)店舗数調整済、全月速報値

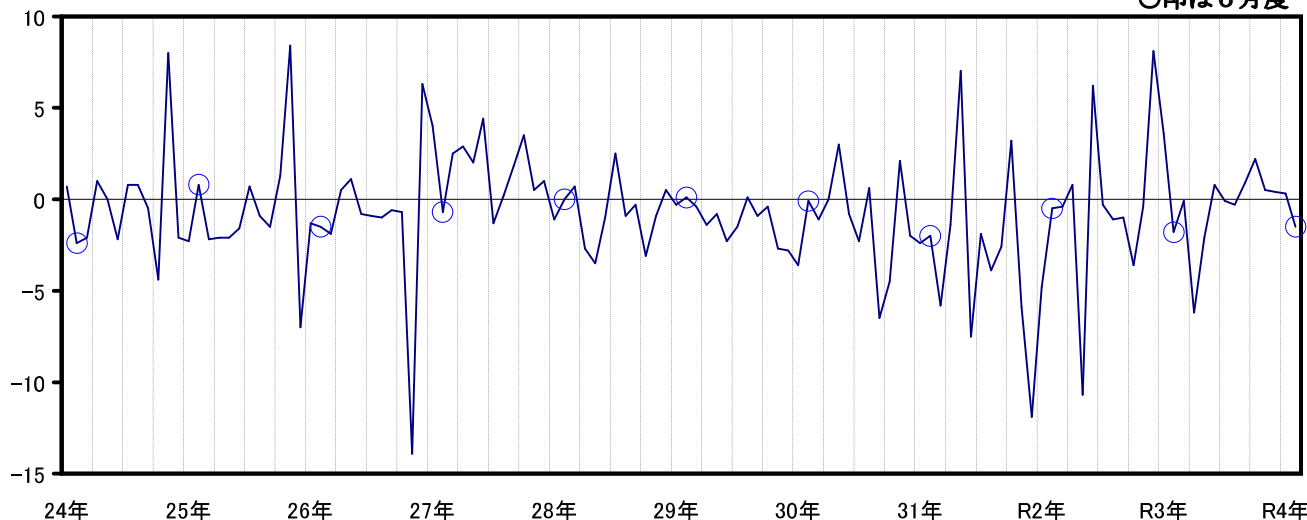
&lt;資料&gt;経済産業省

&lt;過去10年間の推移&gt;

大型小売店販売額前年同月比(%)

&lt;資料&gt;経済産業省

○印は6月度



## (2) 専門量販店等販売額

6月 = 73,672百万円

\*前年同月比：3.4%増

(県内93家電大型専門店、1,678コンビニエンスストア、569ドラッグストア、108ホームセンター合計)

### <概況>

6月の専門量販店等販売額は73,672百万円で、前年同月比3.4%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、家電大型専門店(前年同月比3.1%増)、ホームセンター(同1.0%増)がいずれも3か月ぶり、コンビニエンスストア(同4.0%増)が3か月連続、ドラッグストア(同3.8%増)が14か月連続で前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	70,031	80,951	72,289	65,067	76,072	71,394	74,404	73,672
前年同月比(%)	▲3.6	▲0.8	2.7	1.6	2.4	1.4	1.2	3.4
うち家電大型専門店(%)	▲11.2	▲12.3	▲5.2	▲3.2	3.6	▲1.3	▲9.5	3.1
コンビニエンスストア(%)	▲6.1	2.4	2.5	0.5	▲2.2	1.4	3.5	4.0
ドラッグストア(%)	3.4	3.4	8.2	6.2	8.0	4.2	3.7	3.8
ホームセンター(%)	▲6.1	▲6.9	▲2.9	▲3.7	0.0	▲4.0	▲1.7	1.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.7	▲0.5	2.0	0.8	2.2	2.0	0.9	3.2

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

<資料>経済産業省

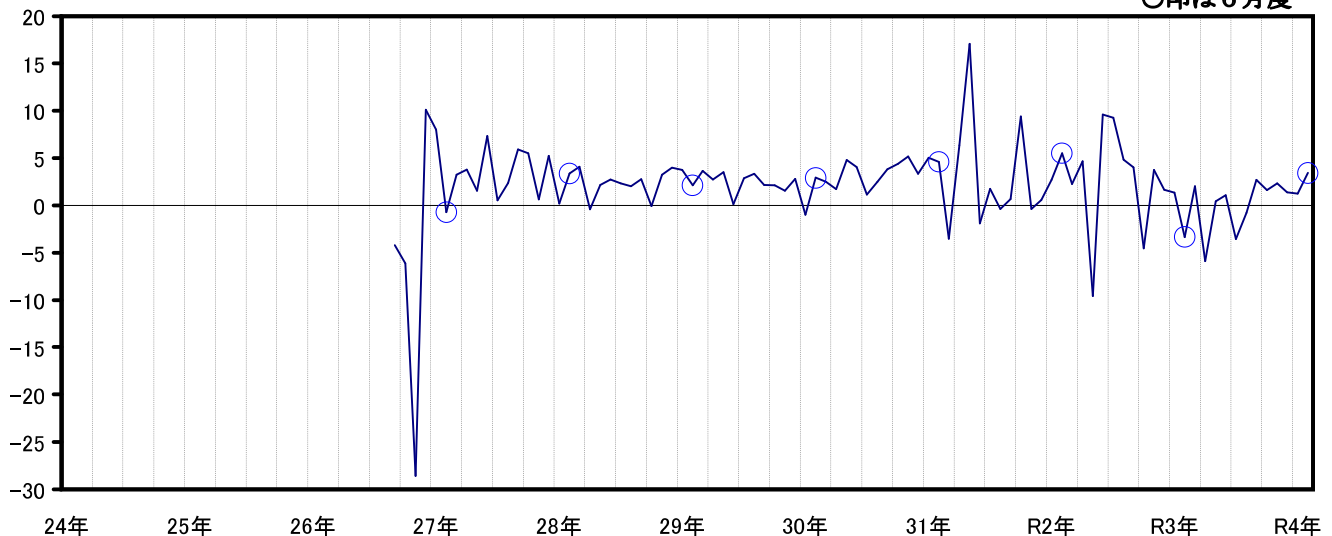
(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

### <過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省

○印は6月度



**(3) 自動車(新車)新規登録台数****6月 = 11,368 台**

\*前年同月比： 8.0%減

(乗用車、軽自動車合計)

## &lt;概況&gt;

6月の自動車(新車)新規登録台数は11,368台(前年同月比 8.0%減)と、12か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比 10.6%減)が10か月連続、軽自動車(同 5.2%減)が12か月連続で前年実績を下回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
登録台数(台)	12,083	12,175	12,545	13,414	18,091	10,225	9,191	11,368
前年同月比(%)	▲15.7	▲12.1	▲15.1	▲17.4	▲16.9	▲18.2	▲14.7	▲8.0
(参考)全国前年同月比(%)	▲13.4	▲11.1	▲16.1	▲19.9	▲16.5	▲15.3	▲19.0	▲9.6

&lt;資料&gt;県税務課、日本自動車販売協会連合会

## &lt;車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移&gt;

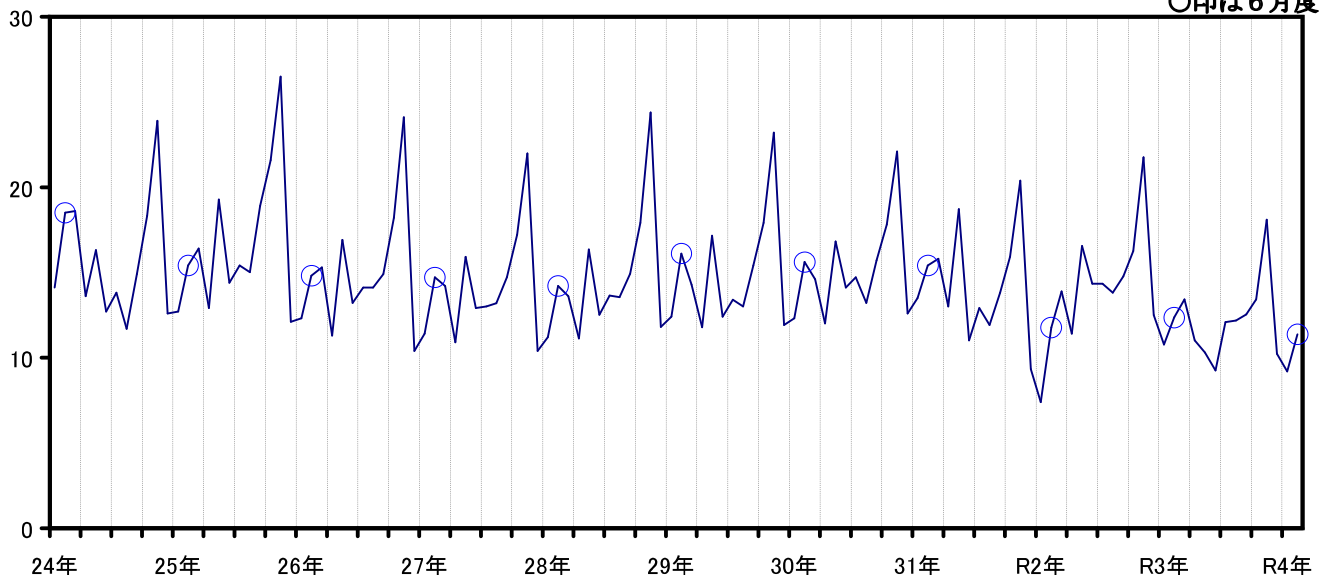
(単位：%)

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全乗用車	▲15.7	▲12.1	▲15.1	▲17.4	▲16.9	▲18.2	▲14.7	▲8.0
乗用車	▲12.0	▲16.0	▲16.3	▲21.6	▲16.9	▲26.0	▲16.8	▲10.6
軽自動車	▲19.7	▲6.9	▲13.8	▲13.0	▲16.9	▲9.9	▲12.6	▲5.2

&lt;資料&gt;県税務課

## &lt;過去10年間の推移&gt;

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課  
○印は6月度

(注) 全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

## 2 新設住宅着工戸数

6月 = 1,748 戸

\*前年同月比： 4.5%減

### <概況>

6月の新設住宅着工戸数は1,748戸で、前年同月比 4.5%減と、3か月連続で前年実績を下回った。  
 利用関係別にみると、貸家（前年同月比 3.5%増）が3か月ぶり、分譲住宅（同 5.7%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、持家（同 12.7%減）が6か月連続で前年実績を下回った。

### <最近の動き>

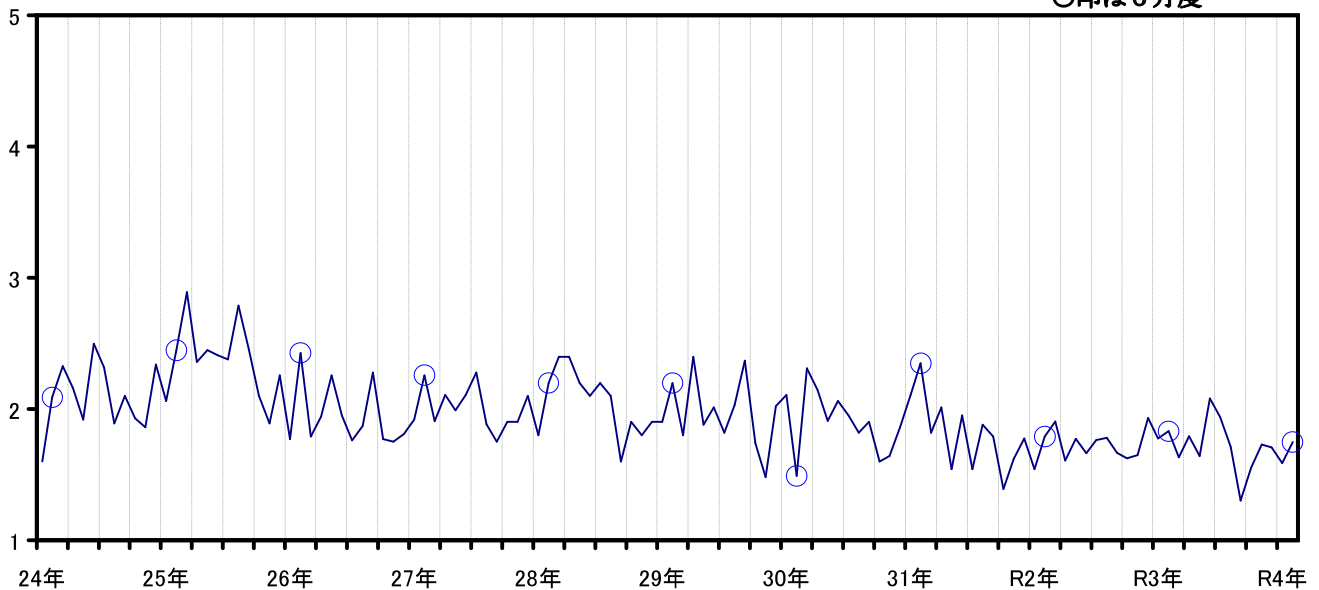
	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
戸数（戸）	1,939	1,712	1,301	1,551	1,731	1,706	1,587	1,748
前年同月比（%）	10.0	▲ 3.8	▲ 21.9	▲ 4.6	5.0	▲ 11.7	▲ 10.6	▲ 4.5
うち持家（%）	24.1	0.0	▲ 21.1	▲ 6.7	▲ 2.7	▲ 17.0	▲ 4.0	▲ 12.7
貸家（%）	8.4	▲ 12.6	▲ 29.9	▲ 0.7	4.5	▲ 20.7	▲ 24.8	3.5
分譲住宅（%）	48.8	▲ 0.6	▲ 16.0	▲ 4.3	31.6	22.4	0.0	5.7
(参考)全国前年同月比（%）	3.7	4.2	2.1	6.3	6.0	2.2	▲ 4.3	▲ 2.2

<資料>県住まいづくり課

### <過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課  
 ○印は6月度



### 3 公共工事請負金額

6 月 = 33,505百万円

\*前年同月比： 18.6%減

(建設保証会社保証実績)

#### <概況>

6月の公共工事の請負金額（工事場所ベース）は33,505百万円で、前年同月比 18.6%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数（工事場所ベース）は769件で、前年同月比 0.8%減となり、3か月連続で前年実績を下回った。

#### <最近の動き>

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
金額（百万円）	15,796	18,711	13,879	11,865	25,996	53,327	30,010	33,505
前年同月比（%）	▲ 12.0	20.5	45.7	57.8	18.9	▲ 5.8	▲ 27.9	▲ 18.6
年度累計前年同月比（%）	▲ 16.1	▲ 14.5	▲ 13.0	▲ 11.6	▲ 10.0	▲ 5.8	▲ 15.2	▲ 16.2
件数（件）	661	441	236	207	482	519	522	769
前年同月比（%）	▲ 0.5	▲ 13.7	▲ 6.7	31.0	4.8	▲ 24.5	▲ 12.4	▲ 0.8
年度累計前年同月比（%）	▲ 1.6	▲ 2.5	▲ 2.7	▲ 1.9	▲ 1.5	▲ 24.5	▲ 18.9	▲ 12.1

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

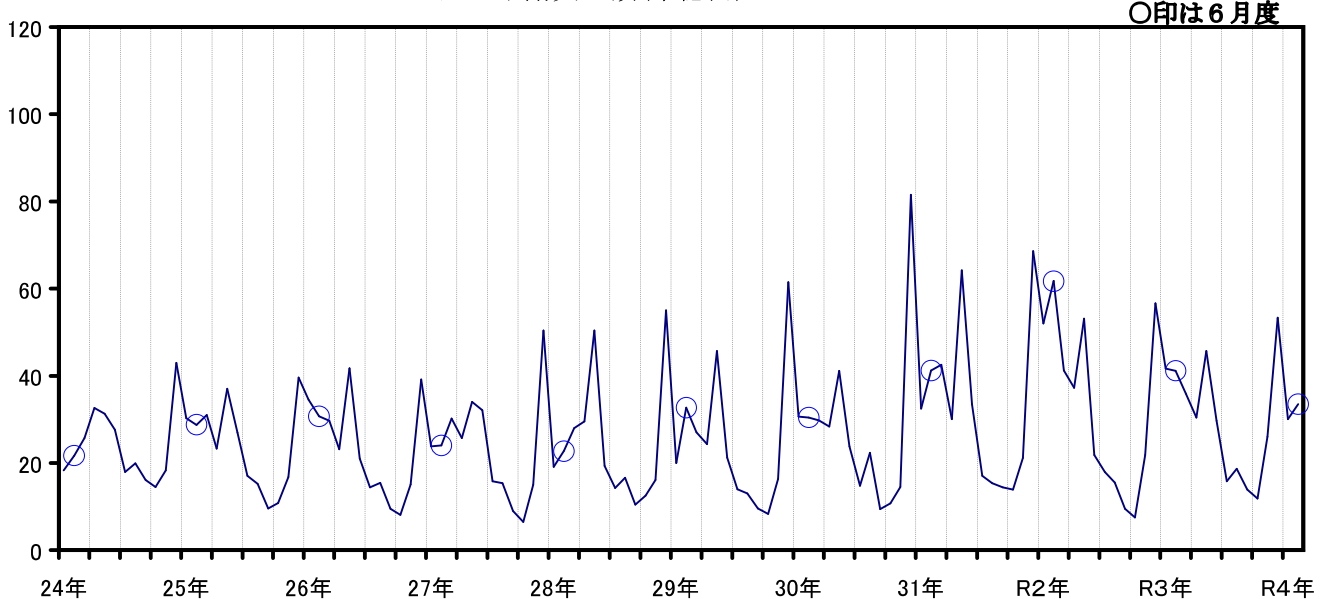
	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国	▲ 41.5	▲ 59.4	14.6	14.0	51.5	▲ 14.7	▲ 38.7	▲ 63.9
独立行政法人等	▲ 71.2	299.4	72.3	-	940.7	84.7	▲ 53.2	▲ 37.3
県	▲ 7.3	▲ 0.5	9.4	59.9	▲ 18.4	▲ 16.0	▲ 13.1	4.7
市町	▲ 6.6	2.4	▲ 13.6	113.3	9.9	▲ 18.2	▲ 2.3	1.5
地方公社	▲ 96.2	-	-	-	-	▲ 90.4	-	▲ 19.0
その他	1,812.2	212.3	243.1	▲ 22.7	54.0	71.5	▲ 53.7	68.4

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

#### <過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店





## 4 設備投資

### <概況>

令和3年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で減少した。ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業で増加した。

令和4年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業（前年度比 48.5%増）、非製造業（同 13.7%増）、全産業（同 31.4%増）においていずれも増加する計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業（前年度比 28.5%増）、非製造業（同 16.1%増）、全産業（同 25.2%増）においていずれも増加する計画となっている。

6月の着工建築物床面積（非居住用）は106,649㎡で、前年同月比 7.2%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

### <企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	(▲5.4) ▲1.4	(7.4) 31.4
	全国	(▲5.1) ▲0.8	(7.4) 14.1
製造業	県	(▲9.8) 8.8	(14.3) 48.5
	全国	(▲6.1) 1.1	(3.8) 20.5
非製造業	県	(▲0.3) ▲10.1	(▲0.8) 13.7
	全国	(▲4.6) ▲1.9	(9.8) 10.5

### （ ）内は前回調査比修正率)

### ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		R3年度 (実績)	R4年度 (計画)
全産業	県	(▲6.1) 1.9	(7.2) 25.2
	全国	(▲3.8) 1.2	(5.5) 13.1
製造業	県	(▲7.7) 6.0	(9.8) 28.5
	全国	(▲3.4) 2.9	(3.7) 14.6
非製造業	県	(▲1.2) ▲8.0	(▲0.3) 16.1
	全国	(▲4.2) ▲0.7	(7.6) 11.5

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年6月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(令和4年6月調査)」

### <最近の動き>

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	107,330	125,604	94,343	66,037	97,183	99,878	130,880	106,649
前年同月比（%）	77.8	119.6	34.6	▲4.4	▲17.2	7.3	97.4	▲7.2
(参考) 全国前年同月比（%）	10.9	33.1	▲3.8	11.0	▲15.1	15.6	▲8.4	12.0

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料> 国土交通省

### <参考 県内企業の業況判断D. I. >

		R4年3月	R4年6月	R4年9月 (予測)
全産業	製造業	▲5	▲6	▲1
	非製造業	▲5	▲12	▲7
	非製造業	▲5	0	4
(参考) 全国・全産業		0	2	▲1

(注4) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(令和4年6月調査)」

## 5 輸出

**6月 = 224,350百万円**

\*前年同月比： 3.2%増

(清水税関支署管内通関実績)

### <概況>

6月の清水税関支署管内の輸出総額は224,350百万円で、前年同月比 3.2%増となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、原動機（前年同月比 40.5%増）が4か月連続、エアコン（同 18.6%増）、自動車（同 70.7%増）、科学光学機器（同 22.9%増）がいずれも2か月ぶり、自動車の部分品（同 4.5%増）が5か月連続、二輪自動車類（同 16.8%増）が8か月連続で前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（同 6.6%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、米国向け（同 30.3%増）が2か月ぶり、EU向け（同 0.2%増）が10か月ぶりに前年実績を上回った。

### <最近の動き>

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出総額（百万円）	192,523	198,268	157,955	185,214	228,526	214,017	182,437	224,350
前年同月比（%）	1.8	▲ 5.3	▲ 6.3	▲ 4.6	3.1	5.7	▲ 8.2	3.2

<資料>清水税関支署

### <主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
原 動 機	4.6	▲ 8.3	27.4	▲ 8.1	17.5	40.2	9.2	40.5
エ ア コ ン	5.8	11.8	▲ 30.8	1.8	14.5	33.9	▲ 0.2	18.6
自 動 車	▲ 28.3	▲ 10.3	▲ 12.8	▲ 35.7	▲ 39.4	2.3	▲ 24.3	70.7
自動車の部分品	25.0	▲ 11.7	▲ 3.0	17.0	29.8	22.0	1.2	4.5
二輪自動車類	7.1	4.8	49.4	5.1	32.3	32.8	8.6	16.8
科学光学機器	17.7	19.6	13.7	11.8	29.9	24.5	▲ 7.4	22.9

<資料>清水税関支署

### <地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
ア ジ ア	5.3	▲ 0.7	▲ 19.2	8.0	▲ 3.4	▲ 6.4	▲ 7.1	▲ 6.6
米 国	14.4	8.6	10.6	▲ 8.9	29.1	42.8	▲ 2.8	30.3
E U	▲ 20.1	▲ 31.3	▲ 3.2	▲ 22.7	▲ 5.8	▲ 4.0	▲ 26.2	0.2

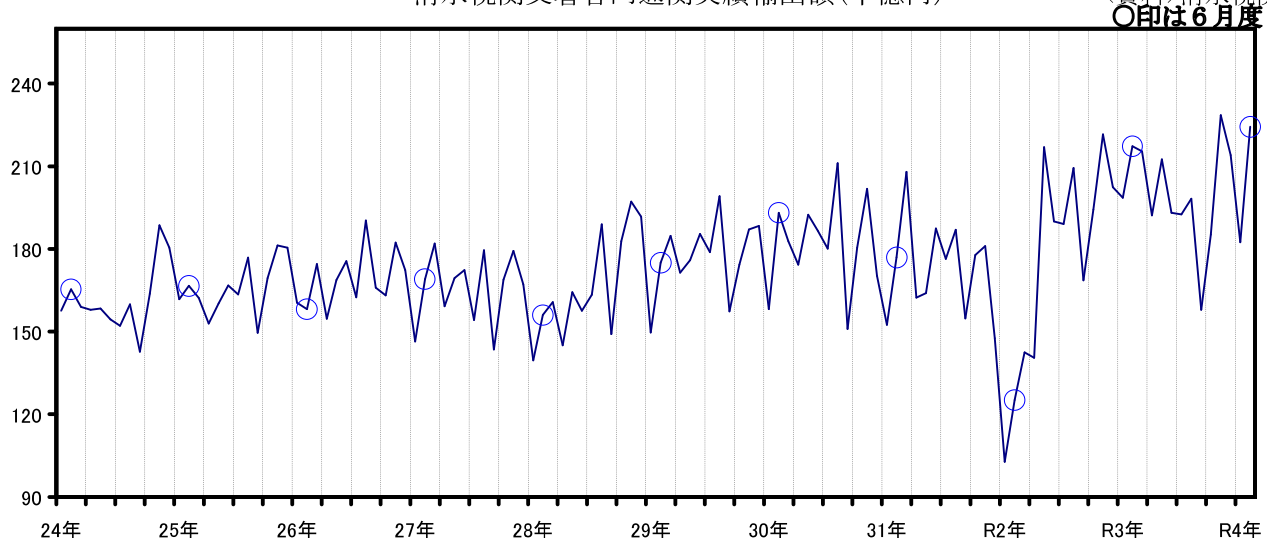
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。  
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

### <過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

6 月 = 134,584百万円

\*前年同月比： 35.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸入総額は134,584百万円で、前年同月比 35.3%増となり、17か月連続で前年実績を上回った。  
 主要な品目別にみると、自動車の部分品（前年同月比 44.2%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類及び同調製品（同 96.0%増）、紙類及び同製品（同 24.2%増）がいずれも3か月連続、木材（同 59.6%増）が16か月連続、パルプ（同 33.4%増）が15か月連続、原動機（同 74.6%増）が17か月連続で前年実績を上回った。  
 地域別では、アジア向け（同 15.2%増）が3か月連続、米国向け（同 61.0%増）が2か月連続、EU向け（同 53.3%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸入総額(百万円)	91,552	104,807	104,107	97,614	110,295	138,439	123,666	134,584
前年同月比(%)	6.3	27.8	29.2	21.8	3.4	36.4	31.8	35.3

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
魚介類及び同調製品	0.0	66.6	▲ 13.2	37.8	▲ 2.6	65.0	15.0	96.0
木材	40.4	85.6	79.1	76.2	25.0	37.7	77.1	59.6
パルプ	104.7	53.4	63.6	44.2	92.7	49.5	65.1	33.4
紙類及び同製品	▲ 25.3	21.4	18.4	20.2	▲ 17.2	1.6	15.2	24.2
原動機	54.4	14.2	224.1	66.5	162.2	89.5	49.7	74.6
自動車の部分品	▲ 21.3	▲ 5.3	▲ 47.6	0.4	▲ 26.5	▲ 16.5	▲ 7.6	▲ 44.2

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

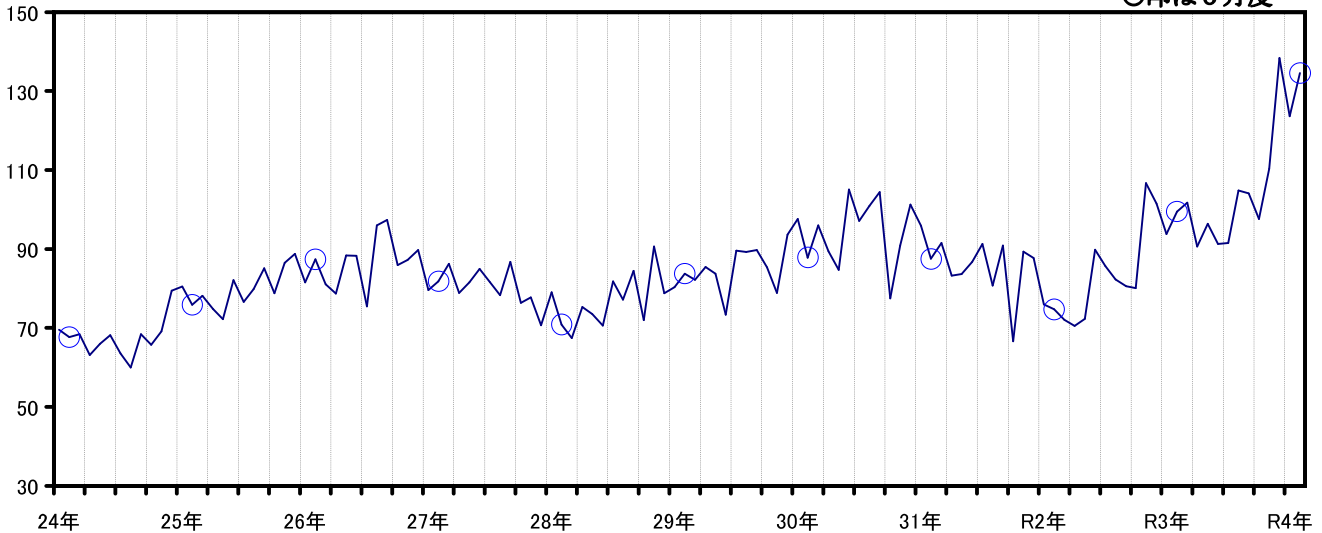
	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	4.6	15.7	29.2	15.5	▲ 3.9	18.2	47.4	15.2
米国	4.4	25.6	10.5	20.9	13.1	▲ 7.3	2.4	61.0
EU	20.9	64.8	23.3	60.8	31.3	102.4	▲ 1.8	53.3

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署  
○印は6月度



# 生産面

## 1 生産

### (1) 鉱工業生産指数

6月 = 94.4

(平成27年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

\*前月比(季節調整済指数) : 16.1%増

\*前年同月比(原指数) : 0.5%増

#### <概況>

6月の鉱工業生産指数(総合)は94.4(季節調整済指数)で、前月比は16.1%増と、2か月ぶりに増加した。また、前年同月比(原指数)は0.5%増と、10か月ぶりに前年水準を上回った。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比0.2%減)、化学(同4.1%減)がいずれも5か月連続、電気機械(同15.4%減)が12か月連続で前年水準を下回ったものの、輸送機械(同8.9%増)が13か月ぶり、パルプ・紙・紙加工品(同4.4%増)が14か月連続、食料品・たばこ(同11.3%増)が2か月ぶりに前年水準を上回った。

#### <最近の動き>

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	88.7	86.5	85.1	88.8	89.7	92.3	81.3	94.4
前月比(%)	3.0	▲2.5	▲1.6	4.3	1.0	2.9	▲11.9	16.1
前年同月比(%)	▲1.7	▲6.4	▲8.6	▲3.1	▲8.0	▲11.9	▲8.3	0.5
(参考)全国前年同月比(%)	5.1	2.7	▲0.5	0.5	▲1.7	▲4.9	▲3.1	▲2.8

(注)平成27年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

#### <県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	5.6	▲3.2	3.8	▲12.2	▲8.0	▲9.9	▲15.0	▲0.2
電気機械工業	▲15.6	▲13.5	▲9.7	▲7.0	▲5.6	▲22.6	▲30.0	▲15.4
輸送機械工業	▲6.3	▲11.7	▲26.3	▲1.4	▲14.6	▲15.8	▲3.4	8.9
化学工業	9.5	1.0	6.4	▲6.5	▲5.4	▲18.7	▲2.0	▲4.1
パルプ・紙・紙加工品工業	3.3	2.0	1.8	1.6	1.3	1.4	2.7	4.4
食料品・たばこ工業	▲0.6	▲1.2	5.2	9.1	▲2.2	0.1	▲8.1	11.3

(注)平成27年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

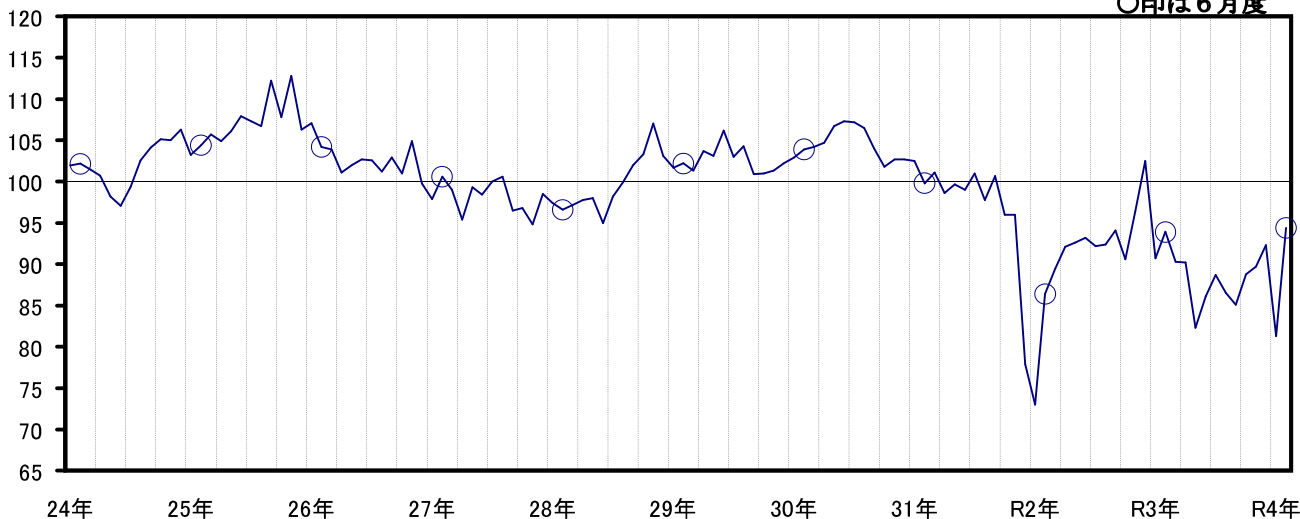
<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課

○印は6月度



## (2) 鋳工業在庫指数

**6月 = 101.8**

(平成27年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

\* 前月比(季節調整済指数) : 3.8%減

\* 前年同月比(原指数) : 0.8%減

### <概況>

6月の鋳工業在庫指数(総合)は101.8(季節調整済指数)で、前月比は3.8%減と、2か月連続で減少した。また、前年同月比(原指数)は0.8%減と、4か月ぶりに前年水準を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今期は「在庫調整局面(在庫調整局面)」に該当する。

業種別にみると、電気機械(前年同月比1.9%増)が2か月ぶり、輸送機械(同4.3%増)が3か月ぶり、化学(同4.1%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同19.8%減)が5か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同1.2%減)が13か月連続、食料品・たばこ(同1.3%減)が5か月ぶりに前年水準を下回った。

### <最近の動き>

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
指数	104.1	101.1	99.9	103.3	100.7	106.4	105.8	101.8
前月比(%)	▲1.7	▲2.9	▲1.2	3.4	▲2.5	5.7	▲0.6	▲3.8
前年同月比(%)	0.0	▲2.8	▲6.3	▲3.4	0.0	1.1	3.6	▲0.8
(参考)全国前年同月比(%)	5.6	5.0	4.6	7.1	6.8	4.1	3.8	4.2

(注)平成27年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

### <県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
はん用・生産用・業務用機械工業	1.4	1.8	0.0	▲23.8	▲26.9	▲26.1	▲28.3	▲19.8
電気機械工業	▲3.9	▲9.6	2.7	2.5	▲5.2	3.0	▲1.0	1.9
輸送機械工業	▲13.9	▲18.6	▲46.8	5.2	8.5	▲13.0	▲3.6	4.3
化学工業	▲5.6	1.6	▲6.1	▲8.9	10.6	▲2.6	8.4	4.1
パルプ・紙・紙加工品工業	▲5.1	▲4.2	▲2.0	▲6.4	▲9.2	▲7.1	▲4.7	▲1.2
食料品・たばこ工業	14.6	▲10.8	▲2.3	3.3	5.4	26.9	28.3	▲1.3

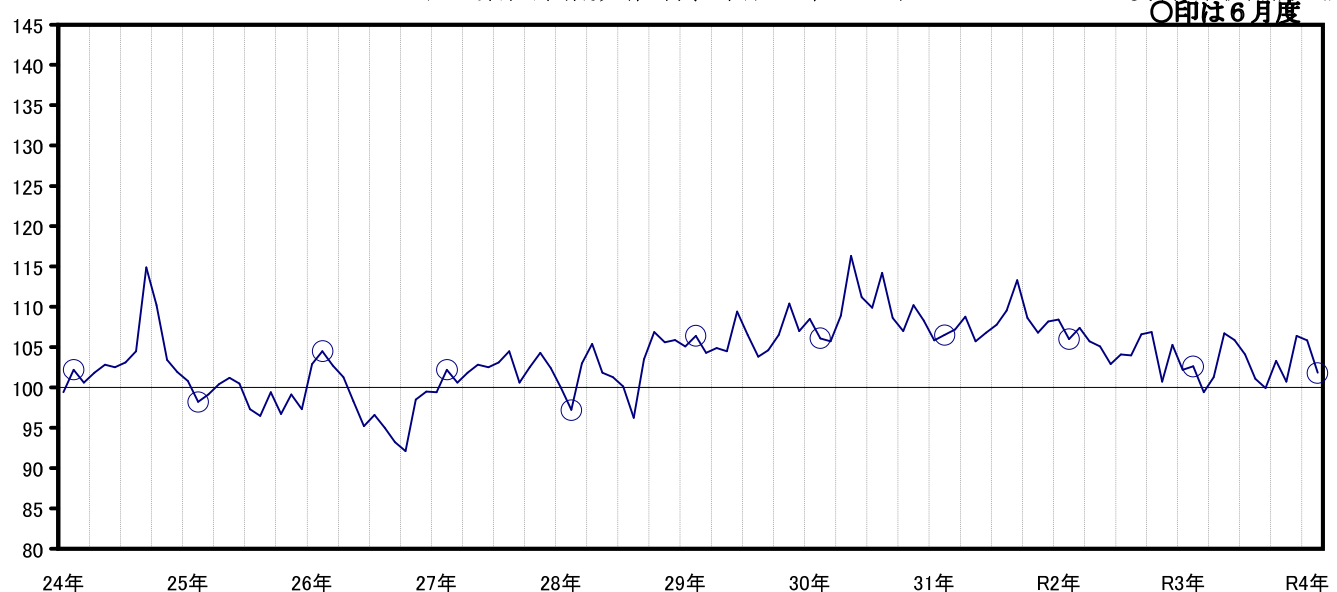
(注)平成27年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

### <過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成27年=100)

<資料>県統計調査課





# 雇 用 面

## 1 雇 用

### (1) 有効求人倍率

**6 月 = 1.31倍**

\*前月比（季節調整値）：0.03ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

#### <概 況>

6月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.31倍となり、前月を0.03ポイント上回った。17か月連続で1倍台となった。また、4か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比14.6%増）は15か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、建設業（前年同月比11.0%増）が21か月連続、製造業（同21.7%増）が17か月連続、情報通信業（同8.7%増）が2か月ぶり、運輸業・郵便業（同7.0%増）が3か月連続、卸売業・小売業（同58.0%増）が13か月連続、医療・福祉（同1.5%増）が16か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同7.9%増）が17か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

（単位：倍）

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
県	1.14	1.14	1.18	1.21	1.24	1.27	1.28	1.31
全 国	1.17	1.17	1.20	1.21	1.22	1.23	1.24	1.27

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

#### <産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建 設 業	8.8	4.7	8.3	3.8	8.5	7.8	7.7	11.0
製 造 業	52.3	48.7	33.4	38.1	41.0	14.7	13.8	21.7
情 報 通 信 業	▲4.3	▲5.5	8.2	▲10.7	▲2.2	50.0	▲20.6	8.7
運 輸 業 ・ 郵 便 業	▲9.2	33.1	24.3	13.8	▲4.6	14.6	8.7	7.0
卸 売 業 ・ 小 売 業	14.7	7.0	25.7	13.1	22.8	29.4	14.3	58.0
医 療 ・ 福 祉	20.8	17.6	8.2	21.6	8.3	14.9	14.4	1.5
サービス業（他に分類されないもの）	23.2	23.3	24.7	20.4	14.6	20.1	6.6	7.9
合 計	19.0	17.4	17.1	20.2	12.9	15.7	10.6	14.6

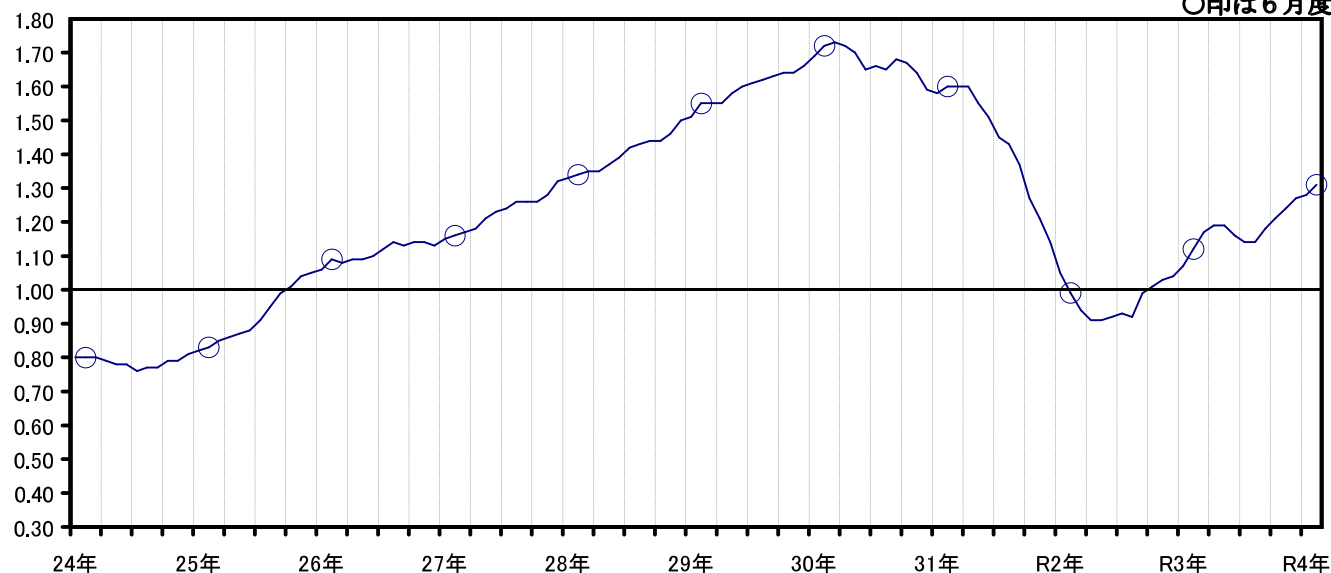
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

#### <過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

6月 = 11,498人

\*前月比: 10.8%増

\*前年同月比: 10.7%減

<概況>

6月の雇用保険受給者実人員は11,498人で、前月比は10.8%増と、2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は10.7%減と13か月連続で前年実績を下回った。

完全失業率(全国)は2.6%と前月と同水準であった。

静岡県(令和4年1~3月)の完全失業率は2.2%で、前期(令和3年10~12月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実人員(人)	11,479	11,196	11,015	10,541	10,594	10,011	10,377	11,498
前月比(%)	▲6.4	▲2.5	▲1.6	▲4.3	0.5	▲5.5	3.7	10.8
前年同月比(%)	▲21.5	▲18.3	▲17.5	▲15.7	▲15.4	▲17.6	▲14.1	▲10.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲13.2	▲13.0	▲11.6	▲13.9	▲15.2	▲15.8	▲10.7	▲11.1

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完全失業率(全国)(%)	2.8	2.7	2.8	2.7	2.6	2.5	2.6	2.6

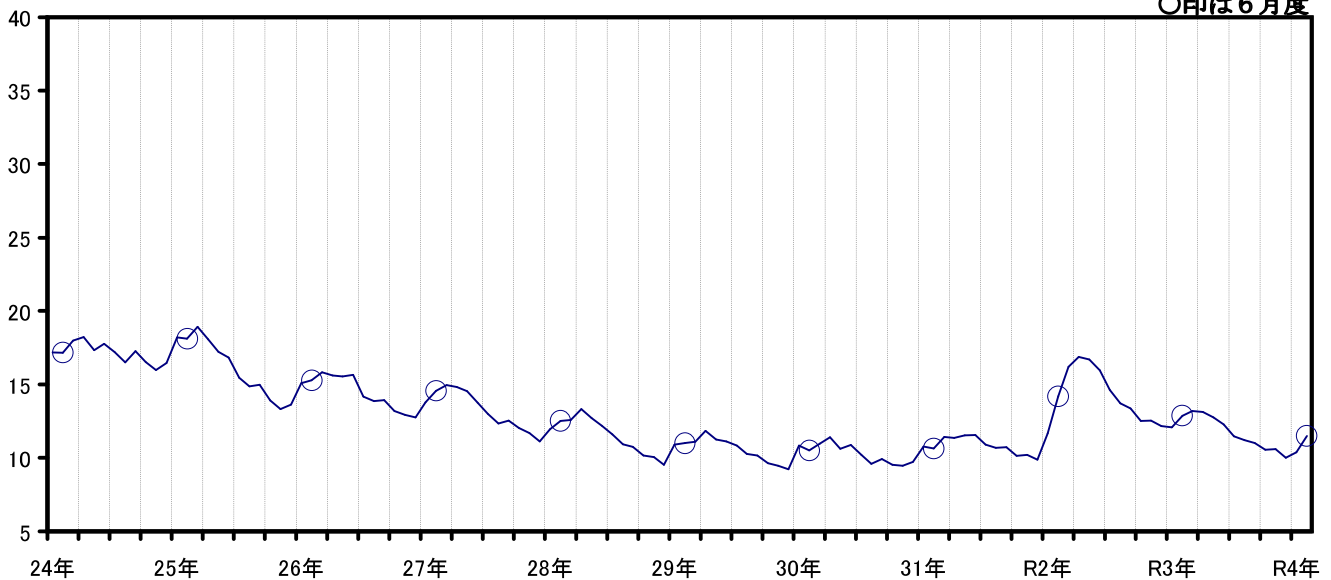
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省  
○印は6月度



### (3) 所定外労働時間指数

5月 = 120.9

\*前月比(季節調整済指数): 4.6%増

(令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) \*前年同月比(原指数) : 13.1%増

#### <概況>

5月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は120.9(季節調整済指数)で、2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比(原指数)は13.1%増と、6か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比26.5%減)が7か月連続、情報通信業(同2.9%減)、運輸業・郵便業(同7.1%減)がいずれも2か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同3.8%増)が6か月連続、卸売業・小売業(同71.5%増)が11か月連続、医療・福祉(同21.1%増)が5か月連続、その他のサービス業(同34.9%増)が2か月連続で前年実績を上回った。

#### <最近の動き>

	R3年11月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月
指数	102.7	102.0	104.9	114.8	116.6	113.3	115.6	120.9
前月比(%)	2.9	▲0.7	2.8	9.4	1.6	▲2.8	2.0	4.6
前年同月比(%)	2.9	0.0	4.5	11.3	18.6	6.4	5.4	13.1
(参考)全国前年同月比(%)	3.5	6.1	7.0	7.1	7.0	4.9	6.4	5.1

\*令和2年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	R3年11月	11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月
建設業	57.8	▲3.6	▲24.5	▲16.2	▲12.3	▲33.8	▲37.8	▲26.5
製造業	▲3.7	▲8.7	3.7	13.4	14.4	7.5	2.0	3.8
情報通信業	▲10.2	▲31.9	▲11.8	1.6	▲17.7	0.4	▲19.3	▲2.9
運輸業・郵便業	21.0	30.2	34.6	▲17.7	0.7	0.4	▲4.5	▲7.1
卸売業・小売業	27.0	37.6	29.2	60.8	28.0	11.2	38.1	71.5
医療・福祉	▲10.0	▲12.5	▲5.7	13.2	34.0	25.1	12.5	21.1
その他のサービス業	31.5	36.0	25.7	31.4	48.1	▲13.6	8.5	34.9
調査産業計	2.9	0.0	4.5	11.3	18.6	6.4	5.4	13.1

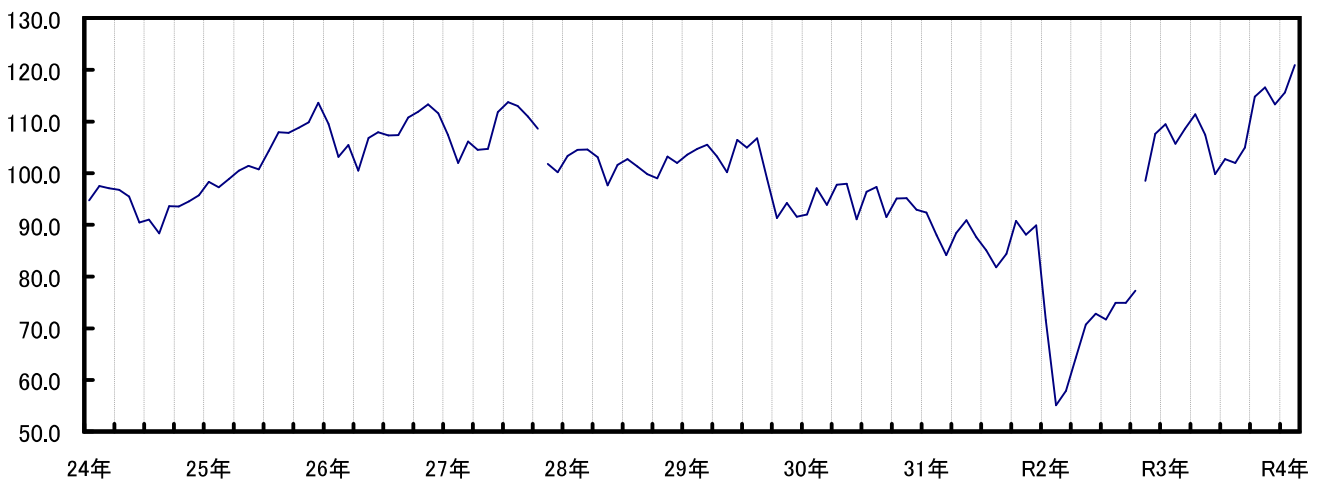
\*令和2年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

#### <過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、令和2年=100)

<資料>県統計調査課



## そ の 他

### 1 物 価

#### 国内企業物価指数

7 月 = 114.5

(令和2年=100)

\*前月比: 0.4%上昇

\*前年同月比: 8.6%上昇

#### <概況>

7月の国内企業物価指数は114.5となり、前月比は0.4%の上昇となった。また、前年同月比は8.6%の上昇となった。

	R 3年12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内企業物価指数	108.4	109.3	110.3	111.3	113.0	113.0	114.0	114.5
前月比 (%)	0.2	0.8	0.9	0.9	1.5	0.0	0.9	0.4
前年同月比 (%)	8.6	9.0	9.4	9.3	10.0	9.3	9.4	8.6

<資料>日本銀行

### 2 金 融

#### (1) 県内金融機関貸出残高

6 月 = 142,433億円

(銀行、信用金庫)

\*前月比: 0.3%増

\*前年同月比: 0.9%減

#### <概況>

6月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は142,433億円で、前月比は0.3%の増加となった。また、前年同月比は0.9%の減少となった。

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出残高(億円)	142,603	143,456	142,566	142,439	142,425	142,184	142,065	142,433
前月比 (%)	0.0	0.6	▲ 0.6	▲ 0.1	▲ 0.0	▲ 0.2	▲ 0.1	0.3
前年同月比 (%)	▲ 1.8	▲ 1.7	▲ 1.9	▲ 2.0	▲ 1.7	▲ 1.4	▲ 1.3	▲ 0.9

<資料>日本銀行静岡支店

#### (2) 貸出約定金利

6 月 = 1.334%

(県内地銀4行総平均)

\*前月差: 0.010ポイント減

\*前年同月差: 0.075ポイント減

#### <概況>

6月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は1.334%で、前月から0.010ポイントのマイナスとなった。なお、前年同月差は0.075ポイントのマイナスとなった。

	R 3年11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出約定金利 (%)	1.384	1.373	1.370	1.364	1.355	1.349	1.344	1.334
前月差(ポイント)	▲ 0.010	▲ 0.011	▲ 0.003	▲ 0.006	▲ 0.009	▲ 0.006	▲ 0.005	▲ 0.010
前年同月差(ポイント)	▲ 0.062	▲ 0.062	▲ 0.064	▲ 0.066	▲ 0.070	▲ 0.071	▲ 0.072	▲ 0.075

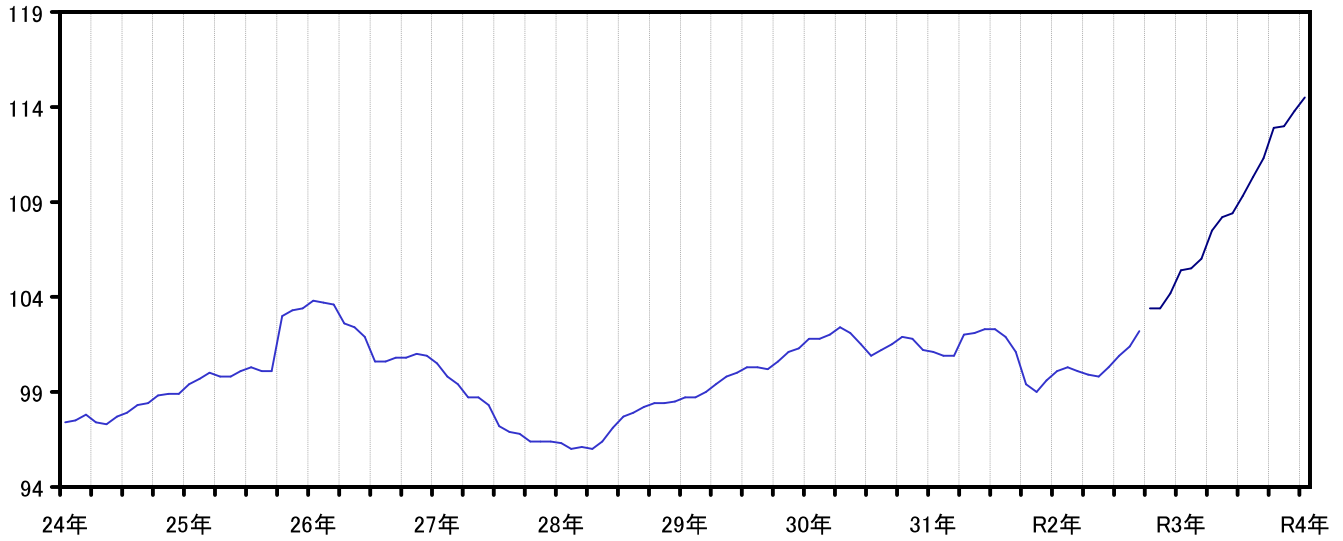
(注) 貸出約定金利は、金融庁報告ベースに過去に遡及して変更

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

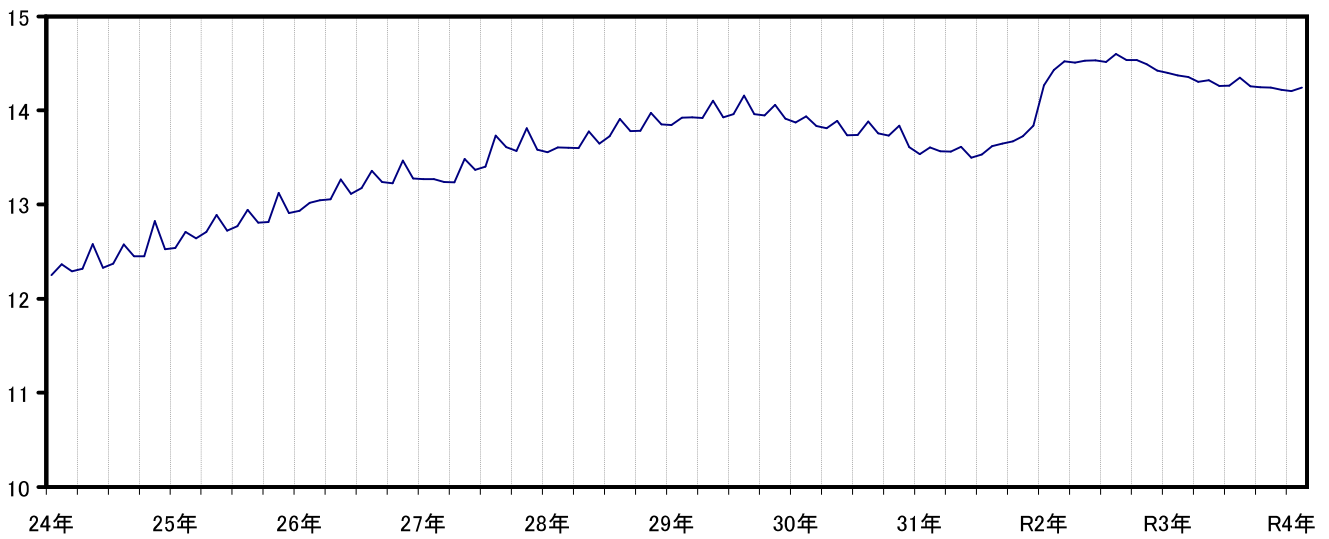
国内企業物価指数(令和2年=100)

<資料>日本銀行



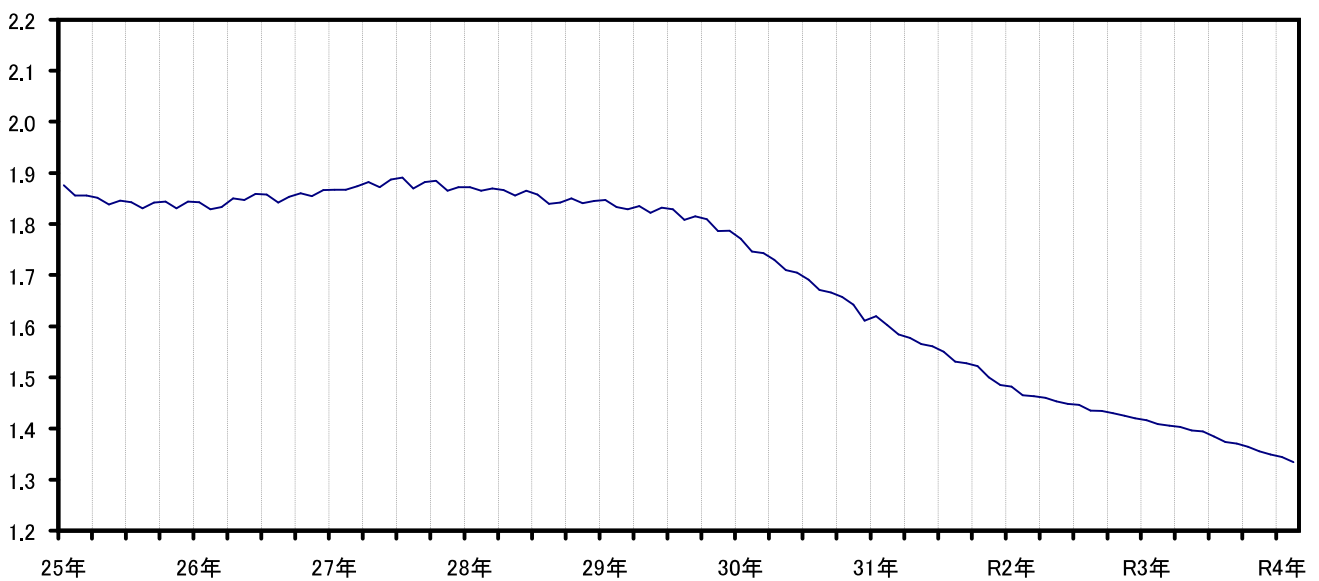
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店





**(3) 信用保証協会保証金額****6月 = 33,533百万円**

\*前年同月比：229.2%増

## &lt;概況&gt;

6月の保証承諾は、金額は33,533百万円（前年同月比229.2%増）、件数は2,030件（同132.9%増）と、いずれも28か月連続で前年実績を上回った。

## &lt;最近の動き&gt;

	R3年11月	12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
保証金額(百万円)	18,311	24,407	13,162	17,160	26,609	32,414	34,448	33,533
前年同月比(%)	42.9	43.2	44.8	23.1	22.2	91.9	282.7	229.2
保証件数(件)	1,677	2,240	1,279	1,611	2,390	1,696	1,898	2,030
前年同月比(%)	46.4	42.9	46.2	30.2	30.1	60.7	158.6	132.9

&lt;資料&gt;県信用保証協会

**(4) 円相場****7月 = 136.63円/ドル**

\*前月差：2.77円安

(東京・銀行間直物中心・平均)

\*前年同月差：26.34円安

## &lt;概況&gt;

7月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は136.63円で、前月と比べて2.77円の円安となり、7か月連続で円安となった。

## &lt;最近の動き&gt;

	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
平均相場(円)	113.87	114.83	115.20	118.51	126.04	128.78	133.86	136.63
前月差(円)	▲0.26	0.96	0.37	3.31	7.53	2.74	5.08	2.77
前年同月差(円)	10.05	11.13	9.84	9.86	16.91	19.59	23.75	26.34

▲…円高

(注)東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

**3 企業経営****企業倒産件数****7月 = 5件**

\*前年同月比：61.5%減

## &lt;概況&gt;

7月の負債総額1,000万円以上の企業倒産は、件数は5件（前年同月比61.5%減）、負債総額は175百万円（同86.1%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が2件と全体の40.0%を占め、296か月ぶりに50%以下となっている。

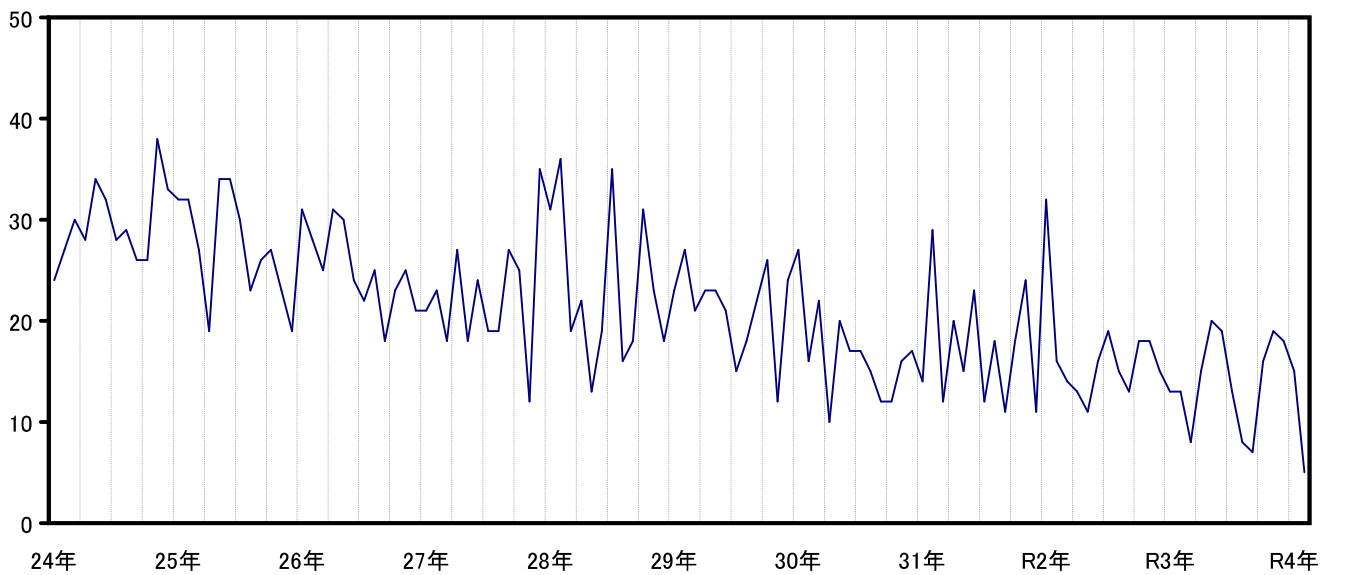
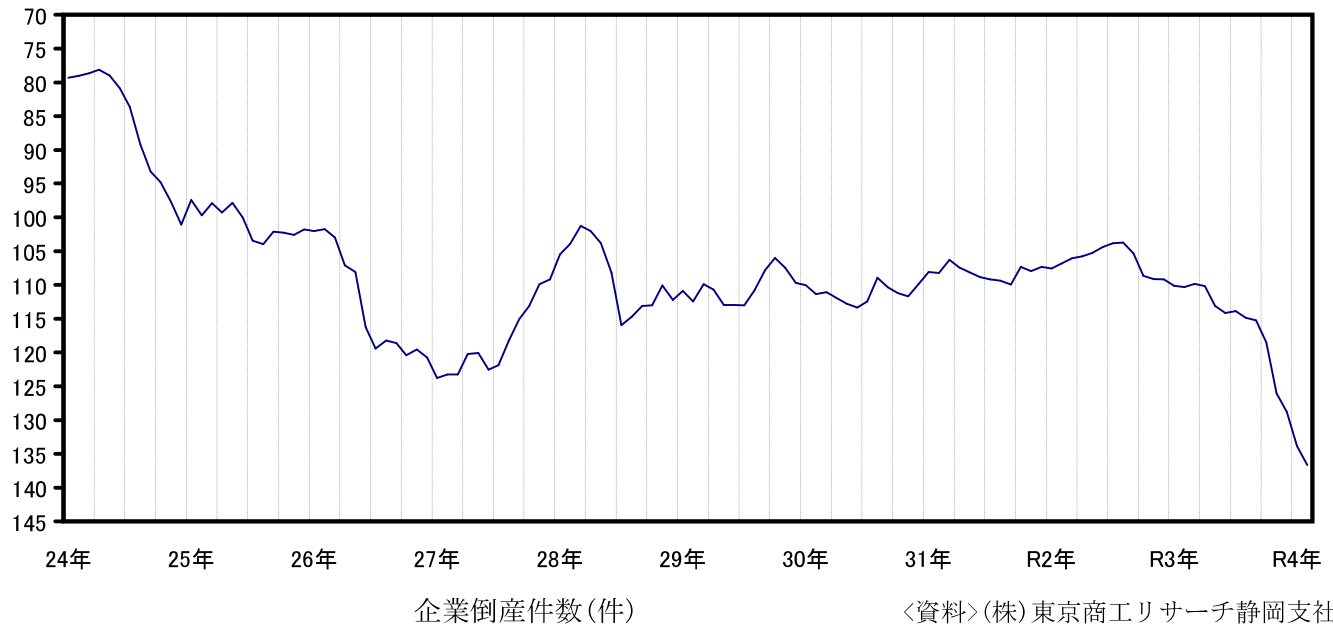
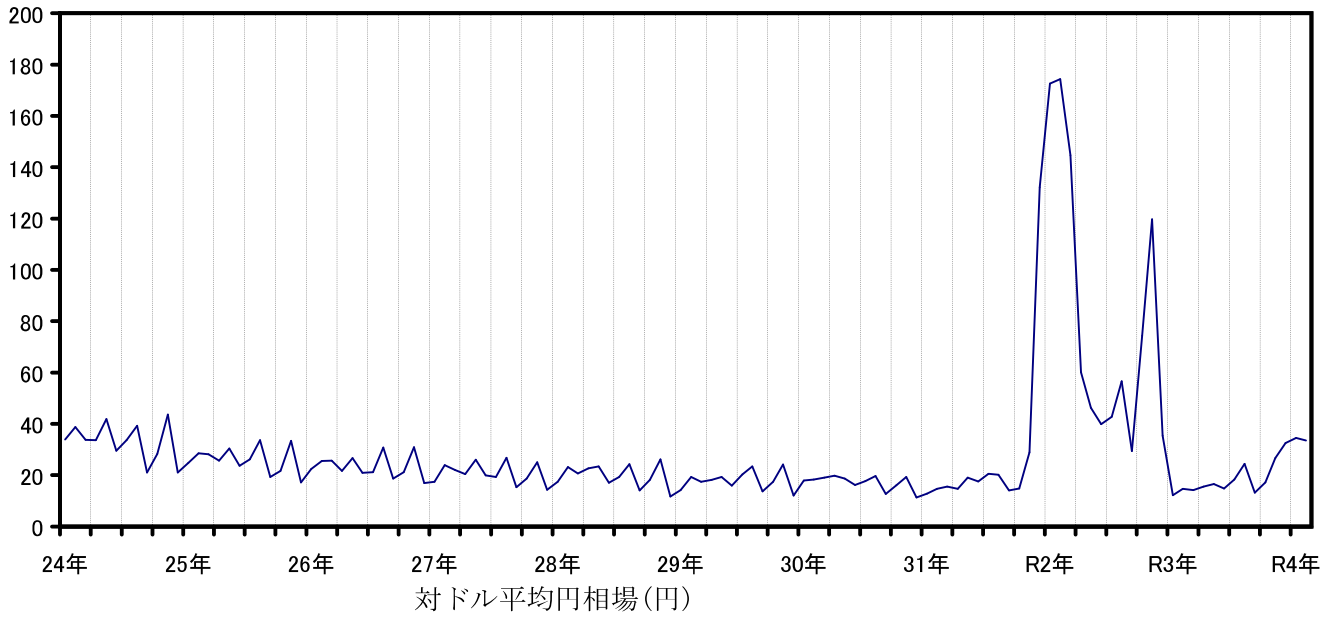
	R3年12月	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
倒産件数(件)	13	8	7	16	19	18	15	5
前年同月比(%)	▲31.5	▲46.6	▲46.1	▲11.1	5.5	20.0	15.3	▲61.5
うち不況型倒産件数(件)	13	8	6	14	14	13	11	2
負債総額(百万円)	1,278	1,799	746	1,507	5,953	1,875	1,935	175
前年同月比(%)	▲34.1	▲87.9	▲76.3	▲47.0	96.5	▲24.7	25.3	▲86.1

&lt;資料&gt;(株)東京商工リサーチ静岡支社

<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



### Ⅲ 令和4年6月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>5月の国内二輪車生産台数は、37,403台（前年同月比 10.9%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。原付第一種（50cc以下）は、9,382台（同 6.3%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、4,552台（同 20.7%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、3,553台（同 7.7%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。小型二輪車（251cc以上）は、19,916台（同 22.1%減）で、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、26,125台（同 2.4%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。輸出向けは、26,588台（同 24.0%減）で、3か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>5月の自動車国内生産台数は、420,233台（前年同月比 16.4%減）と、10か月連続で前年実績を下回った。輸出は206,566台（同 22.7%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>国内生産は、乗用車が10か月連続、トラックが3か月連続で前年実績を下回ったことから、全体でも10か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>6月の冷蔵庫の国内出荷額は460億円（前年同月比 3.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回り、国内出荷台数は372千台（同 4.1%減）で、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>6月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは1,362千台（同 17.5%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。業務用は80千台（同 10.3%減）で、6か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>6月の携帯電話の国内出荷台数は、1,418千台（同 6.4%減）で、10か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、1,280千台（同 4.7%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。単月のスマートフォン比率は 90.2%となり、初めて9割を超えた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>6月の工作機械の受注総額は、1,547億1,100万円（前年同月比 17.1%増）で、20か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は960億5,900万円（同 9.9%増）で、20か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが516億500万円（同 19.8%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。内需は586億5,200万円（同 31.3%増）で、16か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業や関連団体からは、「電気料金の価格上昇による影響が出ている。多いところでは、月に200万円の電気料金の増加となっている。」 「原材料価格の上昇が止まらず、価格転嫁もままならないことから、収益圧迫の懸念が増大している。」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

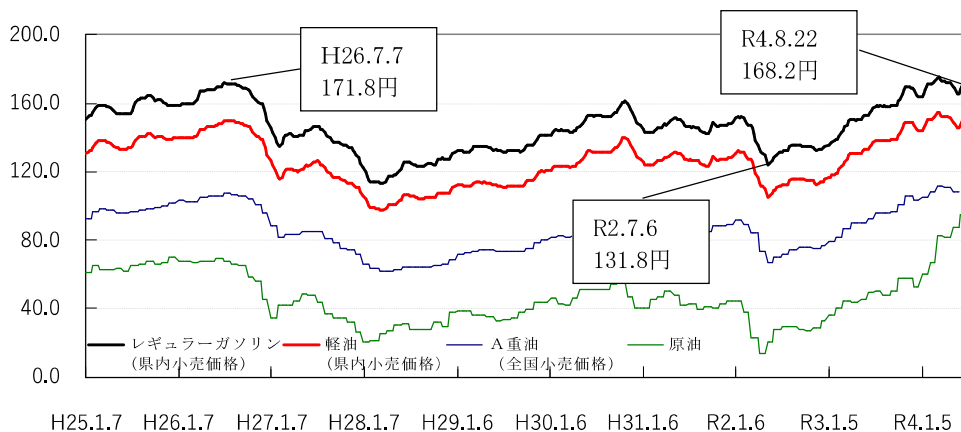
業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>6月の県内楽器メーカーの販売金額は、52億1,926万円（前年同月比7.4%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。内訳は輸出向けが30億1,766万円（同0.1%増）で、国内向けが22億160万円（同16.1%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,321台（同7.9%減）であった。機種別では、アップライトピアノが2,204台（同10.7%減）、グランドピアノが1,117台（同1.6%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,119台（同23.0%減）、国内向けが1,060台（同2.9%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>6月の紙・板紙の国内出荷高は、1,815千ト（前年同月比0.4%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、紙は859千ト（同0.7%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。板紙は956千ト（同1.3%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、457千ト（同0.1%増）で、3か月ぶりに前年実績を上回った。ティシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、144千ト（同0.5%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>6月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,089千箱（前年同月比2.5%減）と3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は766千箱（同2.6%減）と2か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は486千箱（同8.5%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は323千箱（同2.3%減）と2か月ぶりに前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが7,918千箱（同5.9%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>6月の広幅織物の県内生産は、739千㎡（前年同月比8.2%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、669千㎡（同10.8%増）で、4か月連続で前年実績を上回った。別珍・コールテンの生産は、70千㎡（同11.6%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、17千㎡（同6.9%増）で、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>6月の全国百貨店での家具販売額は、38億3,421万円（前年同月比3.6%増）と3か月連続で前年実績を上回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、687億4,154万円（同4.3%減）と2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>6月の県内百貨店・スーパーの販売額は、35,424百万円（既存店前年同月比 1.5%減）と前年実績を下回った。品目別に見ると、衣料品、身の回り品、飲食料品、家庭用品が前年実績を下回った。</p> <p>県内の食品スーパーへの聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。特に、精肉の輸入価格が上昇したため、売上げが減少した。一方、弁当・総菜は、コロナ禍で売上げが著しく落ち込んでいたが、出勤する人が増えたことにより、売上げが回復している。</p> <p>西部の専門店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が減少した。特に、昨年の売上げが好調であった、家電や玩具の売上げが減少した。一方、気温が上昇したことにより、季節ものの衣料品の売上げが好調だった。</p> <p>中部の百貨店への聞き取りによると、前年同月と比較して売上げ及び来客数が増加した。特に、雑貨（化粧品、美術・宝飾・貴金属等）の売上げが好調だった。また、催事では、前年よりも来客数が増加した。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 関東経済産業局、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>令和4年6月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約25万人で、前年同月比14.5%増となった。</p> <p>昨年は、東京都や愛知県等の近隣県に緊急事態宣言が出されていたが、本年はそういった制限がなく、県の観光促進策の「今こそ しずおか 元気旅」の利用期間であったことから、入込数が昨年度よりも増加していると考えられる。</p> <p>主要有料道路（4路線※<sup>1</sup>）の合計通行車両数は、約54万台となり、前年同月比 9.8%増となった。</p> <p>※1 令和元年10月から（遠州大橋（新掛塚橋）が令和元年9月28日から無料化）。</p> <p style="text-align: right;">〈資料〉 静岡県観光政策課</p>

＜原油高の状況について＞

新型コロナウイルス感染症からの経済活動再開に伴う需要増大や、海外情勢の不安定化などにより原油価格が上昇。

足もとの県内ガソリン等小売価格は、レギュラー168.2円/Lと、平成26年7月以来の高水準。



出典：石油情報センター



## Ⅳ データからみた県内主要産業

### <二輪車>

	R 3年10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完成車生産台数(台)	16,733	27,103	25,792	21,054	27,056	27,994	23,172	17,058	26,716
前年同月比(%)	▲ 20.0	30.3	46.2	▲ 0.9	7.5	▲ 5.2	▲ 2.7	2.4	16.9
KD輸出額(百万円)	1,075	1,427	1,504	1,433	1,621	1,940	1,931	1,132	890
前年同月比(%)	▲ 17.8	24.4	▲ 5.4	2.5	▲ 4.0	39.0	40.3	44.3	▲ 16.6

### <楽 器>

	R 3年10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産総額(百万円)	3,020	3,056	2,964	2,788	2,922	3,233	3,126	2,667	3,177
前年同月比(%)	4.6	8.6	4.1	29.2	7.6	7.7	▲ 0.2	1.8	▲ 4.6

### <缶 詰>

	R 3年10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
食缶生産高(千ケース)	1,043	1,005	880	883	936	1,030	1,053	936	1,089
前年同月比(%)	▲ 2.4	0.4	▲ 8.3	6.6	2.6	1.7	▲ 1.0	▲ 3.1	▲ 2.5
うち水産缶詰(%)	▲ 2.6	0.5	▲ 4.2	4.7	2.9	2.1	1.4	▲ 5.0	▲ 2.6
農畜産缶詰(%)	▲ 2.0	0.1	▲ 16.9	10.7	1.7	0.9	▲ 6.3	1.8	▲ 2.3
飲料缶生産高(千ケース)	5,805	6,195	5,511	4,720	6,091	7,432	7,057	7,686	7,918
前年同月比(%)	▲ 7.2	3.6	▲ 9.8	1.3	18.0	▲ 4.3	▲ 13.9	▲ 2.3	5.9

### <織 維>

	R 3年10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
広幅織物(千㎡)	685	814	765	747	659	768	728	677	739
前年同月比(%)	2.8	3.5	5.0	▲ 5.1	▲ 12.0	7.6	3.5	2.3	8.2
小幅織物(千㎡)	14	13	14	15	16	17	17	17	17
前年同月比(%)	▲ 13.0	▲ 23.7	▲ 28.1	▲ 26.8	▲ 12.5	▲ 6.8	▲ 3.8	13.5	6.9

### <観 光>

	R 3年10月	11月	12月	R 4年1月	2月	3月	4月	5月	6月
延べ宿泊者数 (千人泊)	1,244	1,561	1,707	1,299	989	1,498	1,377	1,465	1,202
前年同月比(%)	▲ 14.5	▲ 4.6	19.5	81.8	40.7	22.6	32.9	33.8	30.8
観光施設(10施設)入込 (千人)	390	442	309	272	197	411	416	528	248
前年同月比(%)	▲ 1.5	▲ 7.2	14.2	32.1	▲ 32.3	9.1	0.8	22.8	14.5
有料道路(4路線)通行 量(千台)	570	608	617	519	465	623	549	625	544
前年同月比(%)	▲ 0.5	▲ 1.1	10.2	21.3	▲ 1.1	12.3	4.5	11.9	9.8

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標  
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・専門量販店等販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・自動車新規登録台数		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

### 提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	<a href="http://www.ejcs.co.jp/region/index.html">http://www.ejcs.co.jp/region/index.html</a>
設備投資	日本銀行静岡支店	<a href="http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html">http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html</a>
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	<a href="http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm">http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm</a>
円相場		

### 参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	<a href="http://www.meti.go.jp/statistics/index.html">http://www.meti.go.jp/statistics/index.html</a>
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	<a href="http://www.mof.go.jp/siryou.htm">http://www.mof.go.jp/siryou.htm</a>
国際収支		
機械受注	内閣府	<a href="http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html">http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html</a>
完全失業率	厚生労働省	<a href="http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html">http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html</a>
有効求人倍率		



**静岡県月例経済報告**  
令和4年8月号 通巻556号

発行 静岡県経済産業部  
令和4年8月

編集 経済産業部政策管理局産業政策課  
〒420-8601  
静岡市葵区追手町9-6  
TEL 054-221-2635  
FAX 054-221-3217  
E-mail [sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:sangyo-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp)  
URL <https://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>